

小野耕二教授 業績一覧（2016 年 3 月 30 日現在）

1. 著作（単著）

- 1) 『EC 統合とドイツ統一』、大月書店刊、1991 年 10 月
- 2) 『日本政治の転換点』、青木書店刊、1994 年 10 月
- 3) 『E U 統合の政治学』、青木書店刊、1995 年 11 月
- 4) 『新版 日本政治の転換点』、青木書店刊、1998 年 4 月
- 5) 『転換期の政治変容』、日本評論社刊、2000 年 1 月
- 6) 『社会科学の理論とモデル 11 比較政治』、東京大学出版会刊、2001 年 7 月
- 7) 『日本政治の転換点 第 3 版』、青木書店刊、2006 年 4 月

2. 著作（編著）

- 1) 『講座現代の政治学第 2 巻 現代政治の体制と運動』（共編）、青木書店刊、1994 年 3 月
- 2) 『構成主義的政治理論と比較政治』、ミネルヴァ書房刊、2009 年 1 月
- 3) 日本政治学会編『年報政治学 2006- II 政治学の新潮流』、木鐸社刊、2007 年 3 月（日本政治学会理事会からの委嘱を受け、編集を担当）
- 4) 日本政治学会・韓国政治学会共同編集『*Governmental Changes and Party Political Dynamics in Korea and Japan*』、木鐸社刊、2012 年 9 月（同上）

3. 論文

a. 邦語論文

- 1) 「中期パーソンズにおける論理構造への一視角」、名古屋大学『法政論集』第 76 号所収、1978 年
- 2) 「後期パーソンズにおける近代社会論の基本視角」、名古屋大学『法政論集』第 81 号所収、1979 年
- 3) 「現代資本主義国家における『正統性』問題」、田口富久治・藤田勇編『講座現代資本主義国家・第 1 巻 現代資本主義の政治と国家』所収、大月書店刊、1980 年
- 4) 「ニクラス・ルーマンにおける政治システム論の形成過程」、名古屋大学『法政論集』第 89 号所収、1981 年
- 5) 「ニクラス・ルーマンの現代政治認識」、名古屋大学『法政論集』第 92 号所収、1982 年
- 6) 「西ドイツにおける計画と民主主義」、横越英一編『政治学と現代世界』所収、御

茶の水書房刊、1983 年

- 7) 「政治学における参加と民主主義」、長谷川正安編『現代国家と参加』所収、法律文化社刊、1984 年
- 8) 「ニクラス・ルーマンにおける制御と支配」、『社会・経済システム』第 2 号所収、社会・経済システム学会編集、1984 年
- 9) 「選挙区の考察・愛知一区」、柚正夫編『日本の総選挙 1983 年』所収、九州大学出版会刊、1985 年
- 10) 「訪米記録（1984 年秋）－アメリカ大統領選挙の現地調査報告－」、名古屋大学『法政論集』第 104 号所収、1985 年
- 11) 「日本の政治の風土とネオ・コーポラティズム」、名古屋大学公開講座編集委員会編『現代に生きる－人間は自らを管理できるか－』所収、名古屋大学出版会刊、1985 年
- 12) 「日本型ネオ・コーポラティズム」、『法と民主主義』1985 年 5 月号所収、日本民主法律家協会刊、1985 年
- 13) 「1984 年アメリカ大統領選挙の結果について」、名古屋大学『法政論集』第 106 号所収、1985 年
- 14) 「現代アメリカにおける政治変容に関する序論的一考察」、名古屋大学『法政論集』第 110 号所収、1986 年
- 15) 「西ドイツの政党制と福祉国家の展開」、名古屋大学『法政論集』第 125 号所収、1989 年
- 16) 「西ドイツ福祉国家の再編成」、田口富久治編『ケインズ主義的福祉国家－先進六カ国の危機と再編－』所収、青木書店刊、1989 年
- 17) 「現代西ドイツ政治過程分析序説」、名古屋大学『法政論集』第 131 号所収、1990 年
- 18) 「一九八九年欧州議会選挙の結果について」、名古屋大学『法政論集』第 132 号所収、1990 年
- 19) 「ドイツ社会民主党の EC 政策」、名古屋大学『法政論集』第 145 号所収、1993 年
- 20) 「ドイツ『緑の党』の EC 政策」、名古屋大学『法政論集』第 150 号所収、1993 年
- 21) 「EC 統合の進展とヨーロッパ各国政治の変容」、日本政治学会編『年報政治学 1993 EC 統合とヨーロッパ政治』所収、岩波書店刊、1993 年
- 22) 「EC 統合の政治学」、小野耕二・田口富久治編『講座現代の政治学第 2 巻 現代政治の体制と運動』所収、青木書店刊、1994 年
- 23) 「緑の党の位相」、名古屋大学『法政論集』第 154 号所収、1994 年
- 24) 「『緑の党』の党内論争と『緑の出発 88』の形成」、名古屋大学『法政論集』第 155

号所収、1994 年

- 25) 「選挙からみた日本政治」、加藤雅信編『現代日本の法と政治』所収、三省堂刊、1994 年
- 26) 「シリーズ 転換期の政治変容① 『新しい政治』の政治学的分析」、名古屋大学『法政論集』第 166 号所収、1996 年
- 27) 「シリーズ 転換期の政治変容② 先進諸国における国家の変容」、名古屋大学『法政論集』第 170 号所収、1997 年
- 28) 「シリーズ 転換期の政治変容③ 政党の変容と政党論の展開 上」、名古屋大学『法政論集』第 173 号所収、1998 年
- 29) 「シリーズ 転換期の政治変容③ 政党の変容と政党論の展開 下」、名古屋大学『法政論集』第 174 号所収、1998 年
- 30) 「シリーズ 転換期の政治変容④ 現代における政治の変容」、名古屋大学『法政論集』第 176 号所収、1998 年
- 31) 「日本における比較政治学の現状と課題」、立命館大学『政策科学』第 8 巻 3 号、2001 年
- 32) 「現代ドイツの政党政治」、日本政治学会編『年報政治学 2001 三つのデモクラシー－自由民主主義・社会民主主義・キリスト教民主主義－』所収、岩波書店刊、2002 年
- 33) 「政治学の教科書には何が必要か」、『U P』2002 年 10 月号所収、東京大学出版会刊、2002 年
- 34) 「ニクラス・ルーマンの政治理論」、日本政治学会編『年報政治学 2002 20 世紀のドイツ政治理論』所収、岩波書店刊、2003 年
- 35) 「法科大学院の政治学には何が必要か」、『U P』2003 年 12 月号所収、東京大学出版会刊、2003 年
- 36) 「シリーズ 比較の中の現代ドイツ政治② 比較の中の現代ドイツ政治 序論－2002 年 9 月に実施されたドイツ連邦議会選挙を手がかりとして－」、名古屋大学『法政論集』第 200 号所収、2004 年
- 37) 「比較政治学の新たな可能性－アジア諸国の政治をいかに比較するか－」、日本比較政治学会編『日本比較政治学会年報第 6 号 比較の中の中国政治』所収、早稲田大学出版部刊、2004 年
- 38) 「シリーズ 法整備支援のための比較政治学② 法整備支援の比較政治学的考察をめぐして－E・オストロームの支援論を手がかりに－」、名古屋大学『法政論集』第 206 号所収、2005 年

- 39) 「シリーズ ルーマンの政治理論② ルーマンにおける『信頼』論の位置」、名古屋大学『法政論集』第214号所収、2006年
- 40) 「シリーズ 法整備支援のための比較政治学③ 『民主化促進』の政治学をめざして－法整備支援の実践を手がかりに－」、『2001年度～2005年度科学研究費補助金(特定領域研究)「アジア法整備支援－体制移行国に対する法整備支援のパラダイム構築－」研究成果報告書』第6巻、小野耕二・定形衛編『法整備支援と体制移行・比較政治体制論』所収、名古屋大学法政国際協力研究センター刊、2007年
- 41) 「シリーズ 紛争処理過程の政治学的分析① 法律学と政治学との交錯領域へ向けて」、名古屋大学『法政論集』第216号所収、2007年
- 42) 「シリーズ 比較の中の現代ドイツ政治③ 連邦議会の解散とメルケル政権の成立」、名古屋大学『法政論集』第217号所収、2007年
- 43) 「拒否権プレイヤーと日本政治－ドイツ政治との比較における『政策転換』のメカニズム分析－」、眞柄秀子・井戸正伸編『拒否権プレイヤーと政策転換』所収、早稲田大学出版部刊、2007年
- 44) 「『政治学の実践化』への試み－『交流』と『越境』のめざすもの－」、日本政治学会編『年報政治学2006-Ⅱ 政治学の新潮流』所収、木鐸社刊、2007年
- 45) 「シリーズ ルーマンの政治理論③ ルーマンにおける『権力』論の形成」、名古屋大学『法政論集』第221号所収、2008年
- 46) 「シリーズ 紛争処理過程の政治学的分析② 紛争の構図と政治学的分析視角」、名古屋大学『法政論集』第223号所収、2008年
- 47) 「シリーズ 紛争処理過程の政治学的分析③ 紛争処理と『公共性』」、名古屋大学『法政論集』第232号所収、2009年
- 48) 「政治学の実践化への試み：政治参加の拡大へ向けて」、日本学術会議『学術の動向』2009年10月号所収、2009年
- 49) 「構成主義的政治理論の意義」、小野耕二編『構成主義的政治理論と比較政治』所収、ミネルヴァ書房刊、2009年
- 50) 「紛争処理と専門家のリーダーシップ」、滋賀大学『彦根論叢』第383号(小西中和教授退職記念号)所収、2010年
- 51) 「民主化過程の比較政治学」、吉川洋子編『民主化過程の選挙－地域研究から見た政党・候補者・選挙－』所収、行路社刊、2010年
- 52) 「高レベル放射性廃棄物の処分問題解決の途を探る－政治学における決定作成論の立場から－」、日本学術会議公開講演会実行委員会編『高レベル放射性廃棄物の処

- 分問題解決の道を探る：公開講演会報告書』所収、2010 年
- 53) 「コモンズの政治学的分析」、日本法社会学会編『法社会学』第 73 号（コモンズと法）所収、日本評論社刊、2010 年
- 54) 「高レベル放射性廃棄物の処分問題解決へ向けて：政治学の立場から」、日本学術会議『学術の動向』2010 年 11 月号所収、2010 年
- 55) 「シリーズ 紛争処理過程の政治学的分析④ 政治学の再検討と紛争処理論の意義」、名古屋大学『法政論集』第 237 号所収、2010 年
- 56) 「比較政治過程分析への試み－日中韓政治学共同研究のために－」、名古屋大学『法政論集』第 239 号所収、2011 年
- 57) 「シリーズ『変容期の政治学』① 『新しい政治学』への展望－『政治変容』と『政治学の変容』との架橋－」、名古屋大学『法政論集』第 242 号所収、2011 年
- 58) 「『投票率』をめぐる問題状況と対応策への政治学的視角」、名古屋大学『法政論集』第 248 号所収、2013 年
- 59) 「政治の再定位－『政治不信』からの転換をめざして－」、名古屋大学『法政論集』第 250 号所収、2013 年
- 60) 「政治への信頼こそ投票率向上の基盤」、『月刊公明』第 112 号所収、2015 年
- 61) 「政治的能動性の獲得をめざして－18 歳投票制の実現に際して－」、『月刊生活経済政策』2015 年 12 月号所収、2015 年

b. 邦語雑誌等掲載短文

- 1) 小野耕二・戒能通厚・森英樹「鼎談・政党への国庫補助と議会政治」、『月刊憲法運動』第 182 号所収、1989 年
- 2) 「ドイツ統一の動きについて」、『Interjurist』第 50 号所収、日本国際法律家協会刊、1990 年
- 3) 「15 年ぶりのアメリカ訪問で出会った人々」、『International ReVisitor』第 4 号所収、名古屋アメリカンセンター刊、2000 年
- 4) 「合理的な人は投票しない?」、『私たちの広場』第 251 号所収、明るい選挙推進協会刊、2001 年
- 5) 「戦後日本政治における小泉政権の位置」、『高校公民科・地歴科通信 数研 AGORA』第 45 号所収、数研出版刊、2006 年
- 6) 「若者による若者への啓発活動」、『私たちの広場』第 287 号所収、明るい選挙推進協会刊、2006 年

- 7) 「最近の学部ゼミ活動で感じること」、『名古屋大学法学部ニュース』第 24 号所収、名古屋大学法学研究科刊、2006 年
- 8) 「的場敏博君への別れの詞」、『有信会誌』第 52 号所収、京都大学法学部有信会刊、2009 年
- 9) 「市長は市政に激震を起こした：アイデアはいいが拙速も」、『週刊東洋経済臨時増刊 名古屋再起動』所収、東洋経済新報社刊、2010 年
- 10) 「今回の参議院議員選挙の意義」、『私たちの広場』第 313 号所収、明るい選挙推進協会刊、2010 年
- 11) 「最近の日本政治とケナンの言葉」、『Voters』第 6 号所収、明るい選挙推進協会刊、2012 年
- 12) 「政治学の現代的意義」、名古屋大学法学部編『法を学ぶ 2013』所収、名古屋大学法学部刊、2012 年
- 13) 「政治を見る眼－18 歳投票制の実現に際して－」、『高校公民科・地歴科通信 数研 AGORA』第 64 号所収、数研出版刊、2015 年

c. 英語論文

- 1) “Toward a Comparative Politics for Analyzing Those Nations Making the Transformation from a Planned to a Market Economy,” 名古屋大学『法政論集』第 195 号所収、2003 年
- 2) “Veto Players in Contemporary Japanese Politics,” 名古屋大学『法政論集』第 197 号所収、2003 年
- 3) “International Standards of Democratic Election from the Viewpoint of the Indicators of Democracy,” 名古屋大学『法政論集』第 207 号所収、2005 年
- 4) “Veto Players and Japanese Politics: Mechanism of Policy Change in Comparison with German Politics,” 『拒否権プレーヤーと政策転換：平成 13 年度～平成 16 年度科学研究費補助金（基盤研究 B）研究成果報告書』所収、2005 年
- 5) “Toward a Political Theory of Democracy Promotion,” 名古屋大学『法政論集』第 211 号所収、2006 年
- 6) “Introduction: Transformation of Contemporary Japanese Politics —Governmental Change to the DPJ-led Cabinet, and then Policy Change?—,” Joint-Edition of Korean Political Science Association and Japanese Political Science Association, *Governmental Changes and Party Political Dynamics in Korea and Japan*, 所収、木鐸社刊、2012 年
- 7) “Toward Democracy in Japan: Voter Turnout in Recent Japanese Elections,” Insub Mah and

Heeok Lee eds., *The Search for Good Democracy in Asia: Essays on Politics and Governance* 所収、Manak Publications、2015 年

d. 外国語に翻訳された著作、論文

- 1) 「55 年体制的建立と高速増長－以 60 年代前半期を中心」、『日本政府 在経済現代化過程中的作用』所収、復旦大学出版社刊、1993 年に中国・上海の復旦大学で開催された国際会議「経済現代化過程における日本政府の役割」における発表原稿「55 年体制の形成と高度成長－60 年代前半を中心として」の中国語訳、1995 年
- 2) 李起完訳『新版 日本政治の転換点 韓国語版』、KC Publishing、2003 年
- 3) 李起完訳「日本の政治文化」、同編『現代日本の政治と社会』（韓国語）所収、Maebong Publishing House 刊、2005 年

4. 翻訳

- 1) ニクラス・ルーマン「法システムと政治システム－その相互関連の諸問題－」、ニクラス・ルーマン著・土方昭監修『システム理論のパラダイム転換－N. ルーマン日本講演集－』所収、同書Ⅲに収録されている講演原稿の翻訳と解説を担当、御茶の水書房刊、1983 年
- 2) ボブ・ジェソップ著・田口富久治他訳『資本主義国家－マルクス主義的諸理論と諸方法－』、同書第 1 章と第 2 章の翻訳を担当、御茶の水書房刊、1983 年
- 3) ボブ・ジェソップ著・田口富久治監訳『プーランザスを読む－マルクス主義理論と政治戦略－』、同書第 5 章と第 6 章の翻訳を担当、御茶の水書房刊、1987 年

5. 報告書・報告論文

a. 単独

- 1) 「〈調査報告〉第 13 回参議院選挙へむけての愛知県民の政治意識調査報告」、名古屋大学『法政論集』第 98 号、1984 年
- 2) 「西ドイツ社会民主党大会傍聴記－ドイツ統一とヨーロッパの変革－」、『季刊 窓』第 3 号所収、窓社刊、1990 年
- 3) 「世論調査にみる現代学生気質」、『季刊 窓』第 19 号所収、窓社刊、1994 年
- 4) 「今どきの法学部生気質－90 年代における『名古屋大学法学部生意識調査』の結果から－」、『名古屋大学法学部創立 50 周年記念写真集』所収、名古屋大学法学研究科・法学部刊、2000 年

- 5) 『2004 年度 名古屋大学法学研究科「論文執筆講座」報告書－戦略的「論文の書き方」－』、名古屋大学法学研究科刊、2004 年
- 6) 「我が国における法学部・法学研究科の現状と方向性－学術会議第 2 部法学政治学教育研連によるアンケートの結果から－」、『法律時報』2005 年 6 月号所収、2005 年

b. 共同

- 1) 名古屋市選挙管理委員会『第 41 回衆議院議員総選挙における名古屋市民の意識調査－調査結果の概要－』、編集責任者担当、1997 年
- 2) 日本学術会議第 2 部『報告 法科大学院の創設と法学教育・研究の将来像』、第 19 期法学政治学教育制度研究連絡委員会の一員として、アンケート調査を実施し報告書当該所を分担執筆、2005 年
- 3) 三井情報開発株式会社総合研究所『文化政策に関する評価に関する調査報告書』、文化庁からの委嘱に基づき設置された「文化政策に関する評価に関する調査研究会」の一員として報告書を作成、2006 年
- 4) 常時啓発事業のあり方等研究会『同研究会最終報告書：社会に参加し、自ら考え、自ら判断する主権者を目指して～新たなステージ「主権者教育」へ～』、総務省内に設置された「常時啓発事業のあり方等研究会」の一員として報告書を作成、2006 年
- 5) 平成 21 年度名古屋大学総長裁量経費プロジェクト報告書『ルンド大学法学部との共同修士課程設立に関する交渉の現状と課題』、平成 21 年度名古屋大学総長裁量経費プロジェクトの代表者として報告書を作成、2010 年
- 6) 日本学術会議『回答 高レベル放射性廃棄物の処分について』、日本学術会議に設置された高レベル放射性廃棄物の処分に関する検討委員会の一員として回答を作成、2012 年
- 7) 日本学術会議 政治学委員会・政治学委員会政治過程分科会『提言 各種選挙における投票率低下への対応策』、日本学術会議内政治学委員会委員・政治学委員会政治過程分科会委員長として提言を作成、2014 年
- 8) 日本学術会議 高レベル放射性廃棄物の処分に関するフォローアップ検討委員会内暫定保管と社会的合意形成に関する分科会『報告 高レベル放射性廃棄物問題への社会的対処の前進のために』、日本学術会議に設置された「高レベル放射性廃棄物の処分に関するフォローアップ検討委員会内暫定保管と社会的合意形成に関する分科会」の一員として報告を作成、2014 年

- 9) 日本学術会議 高レベル放射性廃棄物の処分にに関するフォローアップ検討委員会『提言 高レベル放射性廃棄物の処分にに関する政策提言－国民的合意形成に向けた暫定保管－』、日本学術会議に設置された「高レベル放射性廃棄物の処分にに関するフォローアップ検討委員会」の一員として提言を作成、2015 年

c. 科学研究費・研究プロジェクト関連

- 1) 『先進諸国政治の現代的変容に関する比較政治理論的研究』、平成 13 年度～14 年度科学研究費補助金（基盤研究 C）「先進諸国政治の現代的変容に関する比較政治理論的研究」の研究代表者として作成、2003 年
- 2) 『体制移行国の比較政治学的研究に関する国際研究会議報告書』、平成 14 年度科学研究費補助金（特定領域研究）「アジア法整備支援－体制移行国に対する法整備支援のパラダイム構築－」の研究分担者として主催した国際会議の報告書として作成、2003 年
- 3) 『先進諸国の現代的政治変容をめぐる理論と現実との交錯』、平成 15 年度～16 年度科学研究費補助金（基盤研究 C）「先進諸国の現代的政治変容をめぐる理論と現実との交錯」の研究代表者として作成、2005 年
- 4) 『体制移行国の比較民主化に関する国際研究会議報告書』、平成 17 年度科学研究費補助金（特定領域研究）「アジア法整備支援－体制移行国に対する法整備支援のパラダイム構築－」の研究分担者として主催した国際会議の報告書として作成、2005 年
- 5) 『政治学資料集 構成主義的政治理論研究へ向けて』、平成 18 年度～20 年度科学研究費補助金（基盤研究 B）「構成主義的政治理論による先進諸国の政治変容分析：英日独の総選挙の比較を通じて」の研究代表者として主催した 2008 年の国際会議の報告書として作成、2009 年

6. 書評

- 1) 「『55 年体制』を読み直す」、『潮』1995 年 3 月号所収、1995 年
- 2) 「企業主義と対峙する日本型社会民主主義の苦悩－新川敏光著『戦後日本政治と社会民主主義－社会党・総評ブロックの興亡－』書評－」、『レヴァイアサン』2000 年秋号所収、2000 年

7. 辞典の項目

- 1) 「55 年体制」、「自由民主党」、「日本社会党」など第 2 次世界大戦後の政党、「東久

邇稔彦」以降「村山富市」までの日本の首相、「東久邇宮内閣」以降「村山内閣」までの日本の内閣、など 49 項目、永原慶二監修『岩波 日本史辞典』所収、岩波書店刊、1999 年

8. 高校教科書

- 1) 『高等学校 現代社会』、数研出版刊、第 2 部第 3 編第 2 章「日本国憲法と民主政治」の個所を執筆、2002 年
- 2) 『改訂版 高等学校 現代社会』、数研出版刊、第 2 部第 3 編第 2 章「日本国憲法と基本的人権」・同第 3 章「日本の政治機構と民主政治」の個所を執筆、2006 年
- 3) 『高等学校 現代社会』、数研出版刊、第 2 編第 1 章「個人の尊重と法の支配」・第 2 章「現代の民主政治と政治参加の意義」の個所を監修、2012 年